

# 観光施設 食文化情報発信拠点FOODEVER 概要資料

サウンディング（官民対話）用

令和5年12月

鶴岡市建設部 都市計画課

# 観光施設・食文化情報発信拠点 FOODEVER(フーデヴァー)とは？

- ・平成29年7月、民間事業者が、食文化の情報発信をコンセプトに、飲食物販の観光施設をマリカ東館1階にオープン。
- ・市は、観光案内所等を同時期に整備、運営。
- ・「FOODEVER」はFOOD(食べもの)とEVER(いつまでも)を掛け合わせた造語。
- ・令和5年10月、市は、民間事業者との床の賃貸借契約を終了。市が管理運営を引き継ぐ。
- ・マリカ東館は、JR羽越本線の鶴岡駅前に立地（鶴岡市末広町3-17）する市所有の建物。1～3階が店舗、オフィス等。4～6階が隣接するパークビルと一体での公共駐車場（3時間無料・24h最大800円）となっている。

# 施設概要(1)



Googleマップ

[鶴岡市整備]  $A=211.70\text{m}^2$

- ・ 観光案内所、文化体験スペース、情報発信スペース

[民間事業者整備]  $A=1,481.00\text{m}^2$  ※国補助で整備

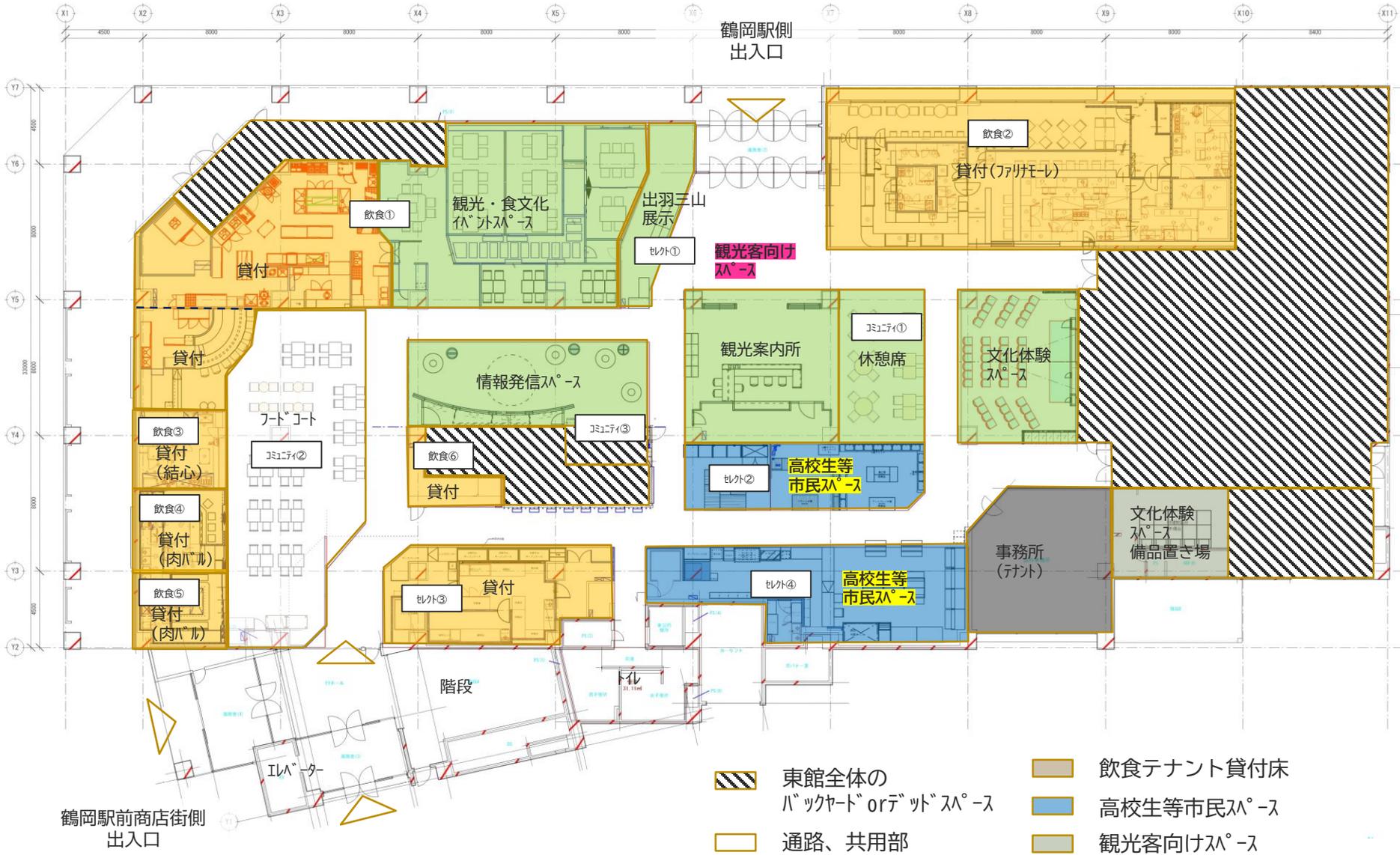
- ・ 飲食区画①～⑥ ※①⑥空き区画
- ・ セレクトショップ区画①～④ ※③空き区画
- ・ コミュニティスペース①～③
- ・ 通路、トイレ等

[施設の維持管理]

- ・ 維持管理業務は、市が一般財団法人鶴岡市開発公社に委託。（再委託先：太平ビルサービス株式会社）

# 施設概要(2)

区画等	概要
観光案内所	9:00~17:30運営、英語対応、レンタルサイクル 業務受託者：一般社団法人鶴岡DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー
文化体験スペース	通常は休憩スペースだが床貸しも可 移動式キッチン、プロジェクター等配備
情報発信スペース	4K映像による食文化・観光情報の発信 24節気の旬の食材・料理を示したテーブル設置
飲食②ファリナ モーレ	奥田シェフ直営店 地元食材を活かした本格イタリアンとスイーツ
飲食③結心	羽黒山にある蕎麦屋直営のお店
飲食④⑤肉バル	市内精肉店直営の肉料理のお店
高校生等市民スペース	市が管理運営を引き継いだ後から設置 まちなかの居心地の良い居場所づくりの一環



鶴岡駅前商店街側  
出入口

鶴岡駅前側  
出入口

観光客向け  
スペース

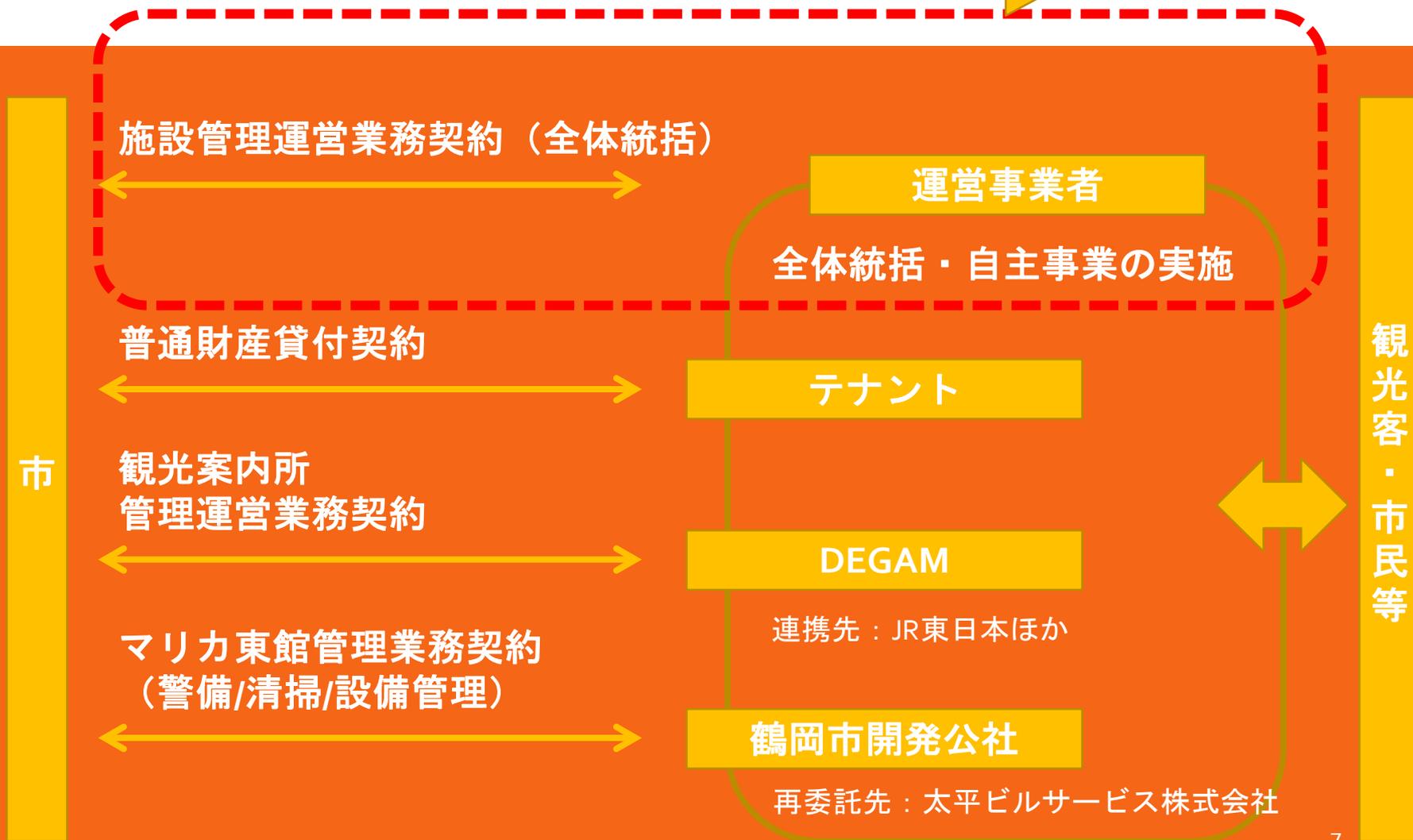
-  東館全体のバックヤード or デットスペース
-  飲食テナント貸付床
-  高校生等市民スペース
-  観光客向けスペース
-  通路、共用部

# 市の活用方針

- ・市は、観光案内所を核としてインバウンド観光をはじめとする交流人口の拡大に向け、食文化・観光情報発信の強化促進を図る。
- ・市は、FOODEVERとしての営業を継続し、空き区画への新規テナントを募集するなど、次の運営事業者が決定するまで、施設の管理運営を行う。
- ・市は、令和6年度より、施設の管理運営を担う運営事業者の募集を行う予定。
- ・市は、最短でも令和14年度までは、当初コンセプトの「食文化情報発信拠点」として国補助で整備した財産を活用する。

# 構成（イメージ）

新たな運営事業者に担ってほしいこと



# 運営事業者の募集に向けた 官民対話の質問項目

- ① 観光需要の動向について
- ② コンセプトを実現するアイデアについて
- ③ 管理運営を担う場合の条件について
- ④ 事業手法・スキームについて
- ⑤ 懸念されるリスクについて
- ⑥ 本事業への参画意欲について

# (参考)鶴岡駅前地区将来ビジョン

- ・本市では2022年の酒井家庄内入部400年を節目として、地域の歴史文化への理解を深めながら、郷土への愛着と誇りの醸成、鶴岡の魅力発信と交流人口の拡大を目指しており、中心市街地においても庄内藩政以来の歴史文化資源の保存・継承・活用を検討するとともに、数十年先の将来を見据えたまちづくりを進めています。
- ・鶴岡駅前地区将来ビジョンは、将来の生活、社会、まちのあるべき姿を想定し、駅前地区のグランドデザインを示すことを目的に策定したものです。



[URL]

<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/toshikaihatsu/syouraikousou.html>